

たけたかく

～ 気高く、伸び伸び、自分らしく ～

市立札幌藻岩高等学校
48期 1 学年通信

第14号
2021/3/24

【保護者の皆様へ】

ある研修でこんな話を聴きました。

日本人は感情と行動と結果が連動すると思いきこんでいる。しかし、「やる気になればなんでもできる」、「一生懸命やれば必ず結果が出る」、「自分らしさを大切にすれば夢はかなう」、という考え方は現実的ではない。

仕事で成果が現れないとやる気を失う若者や、「やる気が出ないから」、「自信がないから」、「やっても仕方がないから」定職に就かないという若者は、感情を克服する理性こそが自分らしさであるということがわかっていない。やる気がなくてもやるのが責任、自信がなくてもやるのが勇気、保障がなくてもやるのがチャレンジである。「気持ち」や「やる気」を大切にせる教育が現在の風潮だが、大人は感情を克服する強さをもった若者を育てなければならないのではないか。

48期の学年団は4月以来、「成功体験によって自己肯定感を高めるとともに、失敗体験から自己を振り返り、自ら考えて行動していく強さを育てる」ことを目標に教育活動を行ってきました。コロナ禍に苦しめられたこの1年ではありましたが、幸いこれまで大きな事故もなく、先日の宿泊研修においても生徒同士が周囲を支え、助け合いながら一回り成長した様子があちこちで見られました。日常の学校生活においても、部活動に向かう生き生きした表情や、試験結果を返却したときの嬉しそうな顔を見るにつけ、目標に向かって前進するたくましさをも身につけつつあることを実感しております。

これも二度にわたる学年懇談会に多数足をお運びくださり、ご家庭での指導にご協力いただいた保護者のみなさまのおかげと感謝いたしております。

春期講習を終えるともう4月。休み明けにはスタディーサポート(高2当初段階での学力測定テスト)がございます。この期間も学習中心に規則正しい生活を送るとともに、家族の一員として、しっかりと務めを果たす機会(掃除や家事の手伝いなど)を与えていただき、人間的な成長を促していただければ幸いです。(一條)

【生徒の皆さんへ】

これからみなさんは中堅学年、いわば学校の中核として、日常生活はもちろん、行事や部活動でも1年生を導き、3年生を支えていく立場になります。コロナ禍にとどまらず、これからもさまざまな困難に遭遇し、無力感を覚えて逃げ出したくなったり、腹を立てて投げ出したくなったりすることもあるでしょう。

しかし、どうかそこで勇気を奮い起こして踏みとどまってください。たとえ結果が望むとおりになくても、がんばった姿を私たちも家族も周囲も見ています。そしてがんばった体験は必ずみなさんを大きく成長させてくれるはずですよ。

来年度の目標は「勉強や行事、部活動を通じて、自ら考えて行動し、さらに力強く成長すること」です。この目標が達成されるとともに、みなさんひとりひとりの進路が実現されることを願い、今年度最後の挨拶といたします。

【諸連絡】

[1]グーグルクラスルームの活用について

すでに教科、探究、宿泊研修、学年からの連絡などで使っていますが、4月からの新年度はますます活用していく予定です。

(新クラスの発表も玄関前には掲示せず、春休み中にクラスルームでの発表になります)。

日頃から、「更新情報 ON」にスマホを設定し、日々クラスルームには目を通す習慣をつけてください。

[2]今後の日程

3月26日(金)～30日(火) 春期講習

4月 8日(木)

8:35 旧学年のクラスで SHR

1の1→2の3 1の2→2の4 1の3→2の5 1の4→2の6

1の5→2の7 1の6→2の8 1の7→第3講義室 1の8→第4講義室

諸書類の仕分け後、新クラスへ移動(自転車通学届けの提出も)

始業式・LHR・入学式

4月 9日(金) クラス写真撮影・交通安全教室・学年集会・学級役員選出

4月12日(月) スタディーサポート(4月段階での学力測定。模試に近い実力テスト。)

国語	<input type="checkbox"/> 3STEPの「古典読解トレーニングノート」(要提出) 春期講習会の範囲に取り組み、自己採点の上、二学年最初の国語授業で提出。 自己採点 ①○つけは正確に。間違ったところは、赤で正答を書き込む。 ②要点は適宜書き込む。
数学	スタディーサポート活用 BOOK の p20～p43 を解き、丸付けをして提出してください。 答えのみではなく「相手に伝わる記述」を書きましょう。できる人は2回3回と繰り返し解いてください。難しい問題もあるので、かなり力がつきますよ。 ※大事なものは、スピードと正確性、そして記述が書けているかどうか！頑張りましょう！
英語	<input type="checkbox"/> 進研 WINSTEP 英語 I (vol.2): 春期講習で扱えなかった部分(おそらく Unit6-8) <input type="checkbox"/> News Breaks: 付属の「総合問題集」 <input type="checkbox"/> スタディーサポート活用ブック: p.4-p.19 の英語の部分 以上に取り組んで丸付けをし、提出してください。 ※問題演習だけでは、英語力はなかなか身につけません。大切なのは、音読やシャドーイングなどを通して「知識を自分の血肉にすること。英語の貯蓄を増やしましょう。」